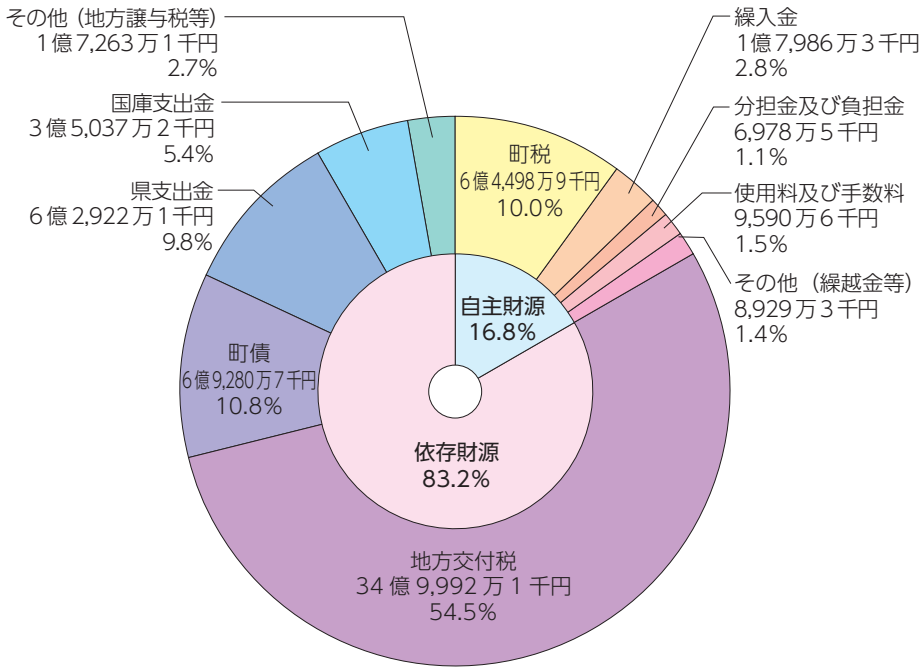


# 平成23年度

# 当初予算決定

# 2,478万8千円

## 歳入



### ■平成23年度予算概要

平成23年度当初予算が3月定例議会において可決されました。

一般会計予算と特別会計予算を合計した予算総額は、93億8,564万円で平成22年度と比較すると4億1,045万8千円(4.6%)の増額となりました。

町民の方々に深く関わりのある一般会計予算は、64億2,478万8千円で平成22年度と比較すると、4億1,536万円(6.9%)の増額となっております。

単純に4月1日現在の町の人口で割ると、町民一人当たり約70万円が使われることとなります。

平成23年度当初予算は、平成22年12月に策定した過疎地域自立促進計画の遂行及び少子高齢化社会への対応を基本とし、また事業の緊急性等も考慮しました。

今後も、厳しい財政運営を覚悟しなければなりません。歳入面では自主財源の確保に努め、歳出面では経常経費の更なる抑制に努め、健全財政を構築してまいります。

### ●一般会計の歳入

本町の財源は、83.2%を依存財源に頼っています。中でも、自治体の財政力の格差を調整するために交付される地方交付税が一番多く、34億9,992万1千円で、全体の54.5%を占めています。

自主財源は、町税や使用料及び手数料などです。歳入全体に占める割合は、16.8%となっており、自主財源で一番多いのは、町税の6億4,498万9千円(10.0%)となっております。町税の内訳は、町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税などです。

### ●一般会計の歳出

歳出で一番多いのは、公債費(町で借り入れたお金を返済するための費用)の、14億1,488万円で、歳出全体に占める割合は22.0%となっております。次に多いのが、民生費の14億7,468万6千円で、老人福祉や児童福祉などの事業に使われます。また、第一次産業の振興に使われる農林水産費は、6億5,543万4千円で歳出全体に占める割合は10.2%となっております。